

セ・ミ・ナ・ー・報・告

平成29年度 とらいあんぐるん大学連携講座 報告 ☆東京家政大学 女性未来研究所 (樋口恵子所長) と共催☆  
**「ココロ豊かで安心な暮らし」の作り方**  
 ～カギは“男女の率(数)の差を縮める”こと

女性・男性の数が増えたり減ったり、女性・男性の率が上がったたり下がったりして差が縮まると、なぜか暮らしやすくなるって知っていましたか？  
 人生100年時代。老若男女、全ての人々が心豊かに楽しく、安心して暮らすための「ヒント」を探るための連続講座を開催しました。参加者：延べ101人



**【第1回】9/30(土)**  
**「『防災・減災』に役立つ**  
**オトコの度量とオンナの視点」**

講師：斎藤正子さん (東京家政大学 看護学部 講師)



斎藤正子講師

男女両方の視点から、より安心に暮らすための地域防災・減災について、性別や立場により異なる災害時の困難、平時の防災・減災対策の必要性などについて、東日本大震災や熊本地震でのデータをみながら、必要なのは男女共同参画の視点による自助・共助であることを学びました。

- <受講者の声>
- ・地域における活動に女性を増やしたい
  - ・女性視点の支援や相談が必要
  - ・家の近くのものをよく確認して「自助」していきたい



**【第3回】11/5(日)**  
**「施設より地域ぐらし**  
**～デンマークと日本を比較する～」**

講師：松岡洋子さん (東京家政大学 人文学部 准教授)



松岡洋子講師

平成22年の内閣府の調査では、60歳以上を対象とした「24時間の介護が必要になった時どこで暮らしたいか？」という質問に約7割が「自宅で暮らし続けたい」と回答しています。「住み慣れた地域でその人らしく最後まで」暮らすためにはどうすればいいのか？実際に地域居住(エイジング・イン・プレイス)を実現しているデンマークの人と日本人を比較しながら考えました。

- <受講者の声>
- ・日本ではボランティアなど他の人を受け入れる精神がまだ不足していると感じた



- ・地域での助け合い、リーダーは必要と思った
- ・10年後には介護施設にお世話になるのかな？と思っていましたが今日話を聞いて考えが変わった

**【第2回】10/7(土)**  
**「明日をつくる女性を育てるために」**

講師：並木有希さん (東京家政大学 教授・女性未来研究所 副所長)



並木有希講師

各界での女性管理職を増やすための政府の取り組みの中、これからの教育や子育てについて学びました。自身のライフプランを作成するワークショップでは、過去の自分を振り返りながら、これからなりたい自分、やりたいことなど、真剣な顔で取り組んでいました。

- <受講者の声>
- ・生涯を通じてキャリアを積み、プリリアントウーマンに心掛けたい
  - ・自分のライフプランは過去の反省ばかり。明るい未来を描ける時代になりたい
  - ・最近の若い女性の実態がわかって良かった。ビックリの連続でした

**【第4回】11/18(土)**  
**「100年ライフの家族関係 長続きのコツ」**

講師：樋口恵子さん (東京家政大学 女性未来研究所 所長)



樋口恵子講師

人生100年、これからの大介護時代をどう乗り越えていくのか？家族間の介護だけでは乗り切れません。血縁でなくても支え合う文化の構築が必要です。行政や民間のサービスも上手に使いながら、互いに支えあい、「楽しくに生きる」ことについて、講師の豊富な実体験を通して学びました。

- <受講生の声>
- ・楽しく年を重ねるために、日々、老いを考えてプランを立てなければと考えた
  - ・“楽しくに生きる”という言葉が印象的だった。前向きに日々を過ごしたいと思う
  - ・働いて収入を得ながら介護もできるような社会の仕組みを充実させていくことが大切

平成29年度 モテパパ大作戦!! ☆伊勢崎市と共同開催☆  
**ミニ講演会とバルーンアート教室**  
 平成29年12月3日(土) 会場：子供のもり公園伊勢崎 まゆドーム

NPO法人グリーンパパプロジェクト代表理事の吉田大樹さんによるミニ講演会「パパの働き方が社会を変える！」を開催。3児のシングルパパで、労働・子育てでジャーナリストでもある吉田さんのお話を聞きました。講演後のバルーンアート教室では、犬や熊、剣づくりにパパ達は一生懸命。自分たちで作った作品を持って「ハイ、ポーズ！」お家に帰ったら、また一緒に作ろうね！！参加者：17組 42人



吉田大樹講師

吉田講師によるイクメン講演会



とらいあんぐるんサロン 第3回 ☆女性のための交流会☆  
**「世界一優しいヘッドスカーフ**  
**～ピンチをチャンスに変える方法教えます～**  
 平成30年2月24日(土) 会場：ぐんま男女共同参画センター

合同会社 Armonia (アルモニア) 代表の角田真住さんをお招きして講演と交流会を開催しました。角田さんが起業に至るまで、起業後の体験を失敗例も交えながら笑顔でお話してくれました。講師を囲んでの交流会も参加者が互いの話に耳を傾けながら和やかに進みました。参加者：12人



角田真住講師

- <アンケートから>
- ・お話を聞いていて女性の強さ、美しさを感じることができた
  - ・普通の主婦で何もわからなくてもやる気があれば道は開けていくのだと勇気をもらいました
  - ・ステキな笑顔で生き活きと講義されている講師に感動しました



平成29年度 男女共同参画講演会 ☆登録団体と協働事業☆  
**『結婚』と男女共同参画～男女がともに輝ける社会へ～**  
 平成30年1月21日(日) 会場：ぐんま男女共同参画センター

関西大学文学部教授の多賀太さんによる講演会。現代の結婚をめぐる課題と「結婚している人もしていない人も、性別を問わず生き活きと暮らしていける社会」について考えました。結婚に関わる現状や未婚化・晩婚化の原因を踏まえ、結婚したい人が結婚できるようになるために当事者や親、政府・自治体・企業等はどうかすればいいかについても学びました。参加者：72人 (共催：群馬県地域婦人団体連合会)



多賀太講師



- <アンケートから>
- ・今の自分が世話している人の悩みがわかった(地婦連)
  - ・婚活事業をすすめる上で従来の価値観にとらわれず若者の気持ちに寄り添ってほしいと思う(地婦連)
  - ・今の自分(独身等)が肯定されたような気がした。結婚への意欲も高まり今後の人生の勉強にもなった(男性)
  - ・娘の気持ちが多少なりとも理解ができたかなと思う(独身の娘の父親)

平成29年度 男女共同参画実践講座 連続講座  
**「そうだったの？日本と群馬の『男女共同参画』事情」**  
 会場：ぐんま男女共同参画センター

誰もが生き活きと暮らせる社会と男女共同参画の関係を知ることを通じて、日常生活においても男女共同参画を意識していただこうと、連続講座を開催。第2回～第4回は講義だけでなくワークショップも行いながら楽しく学びました。参加者：延べ36人

石崎裕子講師

- <アンケートから>
- ・結婚や共働きに関する理解度や関心が高まった
  - ・改めて男女共同参画の基礎を学ぶことができた
  - ・“知ることから始まる”という事を実感した講座でした
  - ・自治会(地域)における男女共同参画についての啓蒙機会が必要と感じました
  - ・グループワークでの共同作業の中で得た気づき(意識改革)を今後も大切にしていきたい



【第1回】1/21(日)	「結婚」と男女共同参画～男女がともに輝ける社会へ～ ☆男女共同参画講演会の聴講
【第2回】2/2(金)	「世界の中の日本」～日本の男女共同参画は、進んで遅れてる？～ 講師：石崎裕子さん(跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 准教授) ※新聞から記事を拾おう
【第3回】2/15(木)	「日本の中の群馬県」～群馬県の男女共同参画はどうなんだろう？～ ※男女共同参画の視点で〇〇を作ろう
【第4回】3/1(木)	「身の周りのできる男女共同参画」～ここにも男女共同参画が～ ※「〇〇家作戦会議」に参画しよう